

事業名	期日	場所
栗城史多さん激励	3月2日・25日	札幌市
活動内容	<p>当日は、札幌市は一寸先も見えない猛吹雪でしたが、道路に出てくれていました。寒いのに強いと思いましたが、室内に入り痛々しい姿を、目の当たりにし、どう言葉をかけようか案じてましたが、いつもの明るい笑顔での第一声で、少し安堵したところです。</p> <p>右手親指一本のもので、どれほど不自由かと胸が締め付けられました。</p> <p>それでも本人は、エベレストを目指すという信念を持っており、何事もくじけずにチャレンジしていく勇姿がこれからも見られると思いますが、もういいのではという気持ちになったことも事実です。</p> <p>3月25日札幌市の救急安心センターさっぽろのオープン記念で栗城さんが講演を行いました。</p> <p>ドックで札幌に居たことから偶然の情報で、駅地下空間の会場に出向きました。驚いたの何のと、凄い人・人で、トーク方式で、登山の事、けがの事、お父さんの事などなどをはなされ、共感を得ていました。</p>	
<p>昨年10月に単独・無酸素のエベレスト（8,848メートル）の登頂の夢破れ、9本の指に凍傷を負い、治療中の栗城さんにお会いしました。</p> <p>ニュースでの報道もありましたが、今回4度目となるアタックでしたが、8,000メートル付近で、ジェットストリームと呼ばれる風速40km/hの“魔の風”に襲われ、命の危険を感じ、登頂を断念したところです。</p> <p>炭化してドス黒くなっている手の指9本には感覚が無いとのこと。</p> <p>このままの状況では、第2関節からの切断となりますが、これまで支えてくれた指に感謝をしているので、精一杯出来る限りの可能性のある治療を行いたいと言っていました。</p> <p>これまでに上京の際に会うことで、調整を何度もしましたが、帰国直後は、“うつ病”になったり、“食事もとれない”状況やあちらこちらの病院等の治療で会うことが出来ませんでした。</p> <p>この度、新聞で岩見沢市において講演会があるとの情報を得て、秘書の小林さんとのスケジュール調整で会うことが出来ました。</p>		



救急安心センターさっぽろオープン記念講演

